

第4回議員定数調査特別委員会 要点記録

○開会及び閉会

令和8年8月21日 13時00分～14時02分

○出席委員の氏名

難波 修二	向山 博	佐々木雄三	北山 正一	淀谷 融
金安 英照	赤石 勝子	柳谷 要	永井 浩	熊谷 雅幸

○出席した事務局職員

事務局長	津村 智之	庶務係長 及川 拓真
------	-------	------------

○協議事項

①議員定数について

○その他

①第5回特別委員会

○難波委員長

- ・開会挨拶
- ・前回までのそれぞれの意見を受け、皆さんから加えて発言があれば伺う。
- ・最終的に今日決定したい。

○難波委員長

- ・定数条例は望ましい議員定数は本来こうあるべきと理念を示す条例ではない。
- ・現実の町の状況、選挙民の皆さんの考え方を踏まえた条例にしていかなければならない。
- ・いろんな方の意見を聞いたが、やはり議員としてふさわしくないような人になっては困るという声はかなり聞いた。
- ・意見は重く受け止め対応していかなければならないというのも私達の責任と思う。
- ・来期、4年後を考え現実を直面し定数の在り方を考えるべき。

○熊谷委員

- ・人口減も続き現状ではなり手不足の解消が非常に厳しい状況であり苦渋の選択だが定数を削減し来期4年間でなり手不足解消に向けた体制を整えていくべきと考える。

○向山副委員長

- ・もう少し早く委員会を立ち上げるべきだった。3ヶ月程でこのような重要なことを決めて良いのかという思いがある。
- ・なり手不足の解消に向け来期は現状維持によりこの協議を継続してはと思う。

○佐々木委員

- ・1減の9名が現実的なのかなというのは承知はしているが、もう1期現状維持で議会改革も検討しながら定数について議論できればと思う。
- ・議会、議員それぞれが研究調査等を進め議会が機能する議会運営を構築できるよう努力しながら現状維持でいければと思う。
- ・議員定数はこれからのなり手のことも考える面で町民の意見をもう少し聞けるような場を次の4年間でやっていくことが必要と思う。

○難波委員長

- ・私が危惧してるのは町民の方が避けるべきと言われてることを考えてくれたのかという批判を受けることも念頭に置かなければならない。

○佐々木委員

- ・難しいがリスクマネジメントを考えると最もだと思う。
- ・これまでなり手を育てるための環境を作ってきたかと言うとまだまだだと思う。

○難波委員長

- ・議会としてやれることというのは限度がある。担い手対策をこれから議会としてやっていくという動きにも限界はある。
- ・前回欠席であった金安委員の意見を伺う。

○金安委員

- ・今回の件はもう少し早くから皆さんと共通認識として持ちたかった。
- ・果たして減が正解なのか現状維持が正解なのか今はわからない。
- ・議員必携を見ると改正前の法定数は人口2000人未満の町村が12人、4000人の人口がいて2000人上限よりも少ない10名の現状で、なぜ9名に減なのかという思いがある。
- ・更に人口が減っていくこととなれば、皆さん少なくしないかという共通の認識になってくると思う。
- ・揺らいでるうちは現状維持と思う。

○難波委員長

- ・他に伺う。

○柳谷委員

- ・今、4000 人規模で 10 人を割るというのは時期尚早であり、度胸がいるというふうに思う。いろんな角度から考えてもそう思う。

○向山副委員長

- ・まだ時間が必要だと思う。今、定数を減らす必要はないと思う。

○金安委員

- ・1 減になったら議員 1 人当たりの負担も間違いなく増える。今でも仕事との両立を考えると厳しいが、更に 1 減となると不安である。

○難波委員長

- ・皆さん同じ気持ちだと思う。
- ・それぞれが抱えている課題を考えればこの先立候補して議員になろうとする人は減って来ると思う。そのことを踏まえ定数はどうすべきかということを考えなくてはならないと思う。
- ・現状維持の 10 名が望ましいといっても毎回無投票となる時代が来るかもわからない。無投票で議員になった方々の議会運営がどのようにになっていくのか非常に悩ましい。

○難波委員長

- ・大体結論は出たと思う。決を採って良いか。

○柳谷委員

- ・多数決で今決めるのは反対でまだ議論すべきと思う。

○難波委員長

- ・9 月定例会で報告を出すことをやめるべきということか。

○柳谷委員

- ・定例の前にもう 1 回特別委員会を開く日程は取れないか。

○難波委員長

- ・もう 1 回開いて結論が変わるものか。

○柳谷委員

- ・僅差で一人か二人の差で定数を決めるというのは避けるべきと思う。

○難波委員長

- ・今までの皆さんの意見からある程度の結論が見えてきている。この先考えが変わるのかは私はわからない。
- ・北山委員の現時点での考えを伺う。

○北山委員

- ・前回までいろいろ皆様のご意見を伺った上で1減の9名と思っている。

○熊谷委員

- ・話し合いの時間が足りないと言うなら9月までやって臨時会で報告するという手もある。

○難波委員長

- ・もう1回議論するか。結論は変わらないと思うが。

○赤石委員

- ・同じだと思う。

○難波委員長

- ・結論は見えてきていると思うが、ここで念のために決を採ることとする。

【表決】

現状維持の10名（挙手5名）

1名減じて9名（挙手5名）

- ・委員会条例で委員長は議決に加われないとなっているので結果は現状維持の10名が5名、1名減の9名が4名で現状維持10名のままでいくという結論になる。
- ・くれぐれも、皆さん責任を持ってこの結果について対応してほしいと思う。
- ・報告書を作成し次回委員会で皆さんの意見を伺う。
- ・次回の日程を調整したい。8月31日の総務文教所管事務調査の前13時予定ということで、よろしいか。

（全員了承）

閉 会